
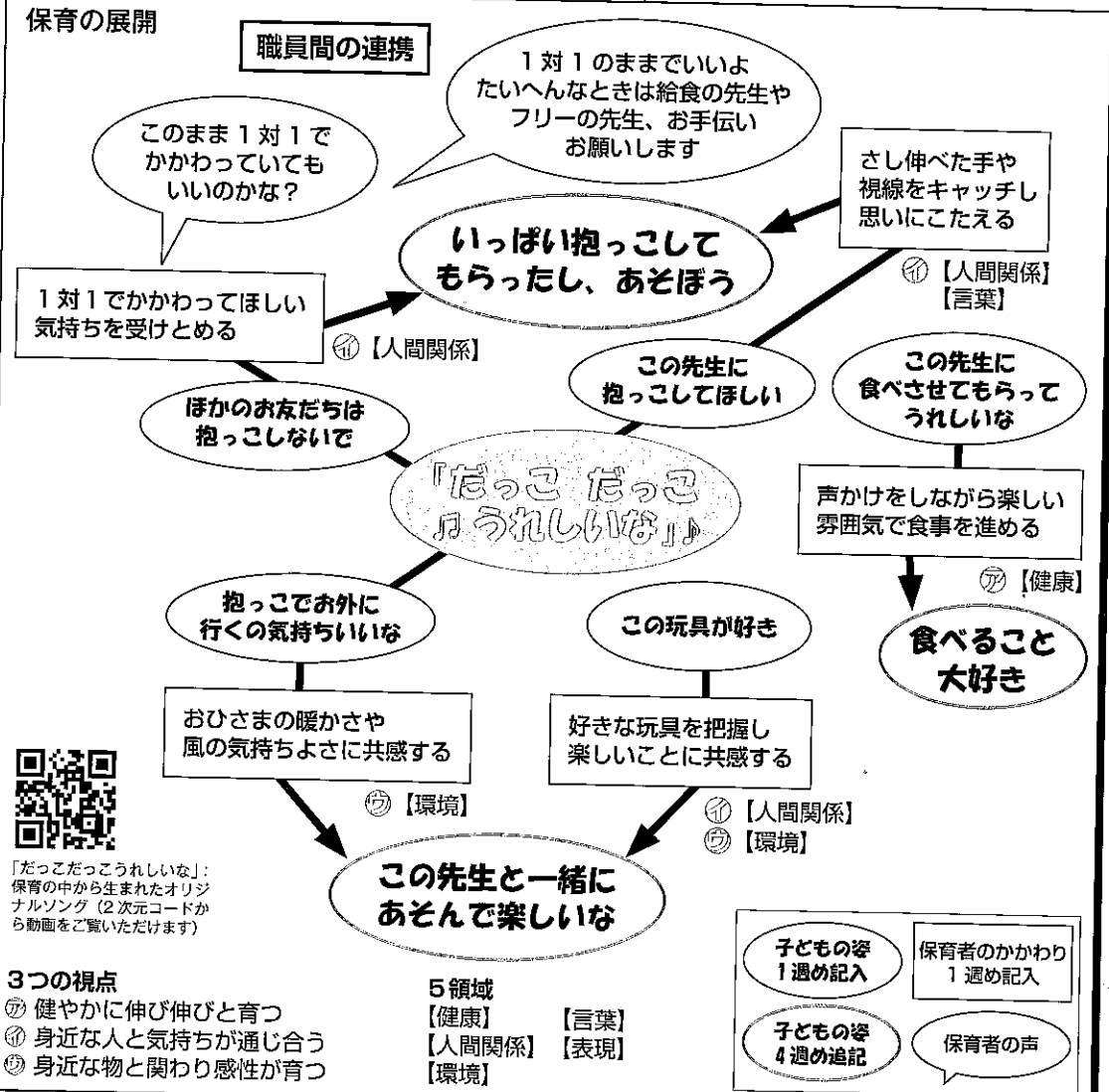


行事	<ul style="list-style-type: none"> 誕生会 保育参加 避難訓練 	クラスのようす	<ul style="list-style-type: none"> 4月の後半から入園してきた子どもたちは、睡眠時間が安定していない。また、ミルクを少し飲んで泣く子どももいたが、保育者に抱かれると泣きやむ姿も見られる。 	(義議・ねらい・教育)	<ul style="list-style-type: none"> 生活リズムを整え、食事、睡眠などの生理的欲求を満たし、心地よく過ごす。 室内や園庭で特定の保育者とかかわり、好きな玩具や場所を見つけてあそぶ。
	〇育てたい内容 △保育者のかかわり	〇気持ちよく入眠し、気持ちよく目覚める。 △抱っこで寝る、ふとんで寝るなど入眠の仕方はさまざまであるが、それぞれの子どもが気持ちよく入眠できるようにし、少しの時間で目覚めそうになってもすぐに対応し、ぐっすり眠り気持ちよく目覚められるように見ていく(5分ごとの安全確認もしっかり行う)。 〇不快を感じ泣いて訴え、保育者の対応に心地よさを感じる。 △おむつを替えるとき、鼻水やよだれを拭くときなど、ていねいにことばをそえて対応する。			
保育者のかかわり	1・2週 連休明けの生活リズムを整える 3週 戸外に出かけ、外気にふれる 4週 保育参加 5週 ベビーカーで散歩に出かける				
週案	子どもの姿(前月末)	子どもの育ち(ねらい・内容)	保育者のかかわり(環境・かかわり・配慮)	反省・評価	
A児(5か月)	<ul style="list-style-type: none"> 少しの間うつぶせて首をグーンと上げて、まわりを見たり他児の動きを見て笑うが、少したつと顔を床に下げて泣く。 サクランボの木の玩具を握り、振ったり口に触れると唇を動かしてなめたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> あおむけからからだをひねって玩具に手を伸ばす等からだを動かし、見え方の変化や全身を動かす心地よさを感じる。 玩具を近づけてもらおうと手を伸ばし握りしめたり、口に入れたりして五感で楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 機嫌のよいときは腹ばいで、巻いたバスタオルを胸の下に挟み、保育者も腹ばいで向かい合ってあそぶようにする。  <ul style="list-style-type: none"> 口に入れても安全で、持ちやすく、発達に合った玩具を保育者が目の前で鳴らして、一緒にあそぶようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 好きな音の鳴る玩具を置いたり保育者が同様の姿勢で向き合いあそんだりすることで、笑ったり機嫌よくうつぶせ姿勢で過ごせるようになってきた。引き続き、腹ばいや寝返りなど全身を使う心地よさを感じられるようにしていきたい。 	
B児(9か月)	<ul style="list-style-type: none"> 中期食を食べさせてもらい、口の中の物がなくなると「あー」と、食器や食べ物に手を伸ばす。 クラスの保育者には安心して身をゆだねるが、ほかの保育者には泣き、クラスの保育者を見ると両手を広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> 食べさせてもらうなかで、自分で食べようとする気持ちが芽生え、野菜等を手づかみで食べる。 クラスの保育者と一緒にいることで安心して、園庭や人工芝などでも落ち着いて過ごす。 	<ul style="list-style-type: none"> 給食担当者と相談し、ひとロサイズのおにぎり、野菜スティックなどを用意し、「おいしいね」と楽しい雰囲気なかで自分でも食べたいようになるようにする。 安心できる保育者ができる限りそばにるようにし、不安感が強いときは、好きな玩具や落ち着ける場所で、スキンシップや、ゆったりとかかわれるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 不安な思いを受けとめ、スキンシップを十分にとりて過ごし、保育室以外の場所やほかのクラスの保育者とかかわりでも表情が和らぐようになった。引き続き、B児の気持ちによりそばに、園庭においても好きな物や場所を見つけ、興味や視野を広げていきたい。 	
C児(12か月)	<ul style="list-style-type: none"> 平熱が高め(37.4度前後)の日が増えてきたが、園庭でもよく動いてあそび、よく笑い、食欲もある。 保育者が他児を抱いていると「んー」といって抱っこを求め、抱いてもらおうと顔を胸にくっつける。 	<ul style="list-style-type: none"> 水分補給や衣服の調節などをしてもらい、不快から快への感覚を知り、心地よく過ごす。 保育者に抱っこされたりふれあいあそびをしたりして楽しみ、スキンシップで安心感を得る。 	<ul style="list-style-type: none"> 時間帯や天候、体調などに合わせて、園庭でからだをしっかりと動かしてあそび、衣服の調節や水分補給をこまめにし、熱がこもらないようにする。 「抱っこしてほしいかたやね」と、1対1でかかわりたい気持ちを尊重し、できる限り満足いくまで触れ合えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 抱っこでのかかわりをとくに強く求めることがあったので、できる限り気持ちによりそうようにした。迎えの時間にはらつきがあるため、とくに夕方時間帯は不安にならないように、一緒にあそぶ等スキンシップを多くするようにすると安心して過ごせた。引き続き、C児のそばにつき、見守って過ごしていきたい。 	

安全・健康・配慮
 〇家庭での離乳食の進み具合や、健康状態などをしっかり把握し、無理なく過ごせるようにしていく。
 〇朝夕の気温差が大きいいため、衣類の調節やこまめな水分補給をする。生活リズムの変化により体調を崩しやすくなるので、体調の変化を見逃さないようにする。
 〇小さい物を口に入れたりするので戸外あそびでも安全・衛生の確認をしておく。

職員間の連携
 〇毎日の生活リズムがまだ整っていない子どももいるので、その日の一人ひとりの状況に応じて対応できるようにしておく。
 〇病気(熱性けいれん含む)や一人ひとりの発達について理解を深め合い、緊急時の対応手順や連絡の優先順位などを看護師と一緒に確認し、適切に行えるようにする。



「だっこだっこうれしいな」:
 保育の中から生まれたオリジナルソング(2次元コードから動画をご覧いただけます)

家庭との連携
 〇送迎時に泣く子どももいるので、園でのかかわりや姿をていねいに伝え、保護者の不安感を軽減していく。
 〇朝夕と日中の気温差が出てきて体温調節がむずかしい子どももいるので、衣類調節の大切さについてもていねいに伝えていく。

ふりかえり
 〇抱っこしてほしい、眠い、おなかがいっぱいなど、たいへんな時間が重なることもあった。とくに食事の前後の流れでは、給食担当者またはフリーの保育者にカバーに入ってもらい、一人ひとりにていねいに見ていけるようにした。これからは職員間で連携をとり、子どもの思いを尊重できるようにしていきたい。
 〇月齢の小さい子どもは抱っこで、大きい子どもはベビーカーで、その日の子どもの状況に応じて戸外へ出かけた。こいのぼりや草花にも目を向ける姿があったので、さらに興味・関心を広げられるようにしていきたい。